

登録コード	F3000432	開講年度	2026				
授業科目	インターンシップ(機口)				担当教員	小関 道彦 他	
英文授業名	Internship				副担当	河村 隆・照月 大悟・渡辺 健太郎	
単位数	1	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 4 Fカリ・機械部 ^ホ ット・機械学コース, 2 4 Fカリ・機械部 ^ホ ット・バイオコース						
	【2020年度以降カリキュラム対象】必要な情報を的確に収集し理解できるとともに、自ら適切な手段により発信し、他者に働きかける能力が身に付いている				⇔	業務遂行に必要な情報を収集・整理・分析し、その内容や成果を報告書や発表を通じて適切に伝達できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	学期はじめに希望者は履修登録を行い、参加（履修）希望者の希望企業との調整作業、および申請作業を経て、夏季休暇中などに1～2週間の実習を行う。なお、申請において必要な提出書類等の作成作業も実習に含まれる。また、実習においては、全員「学生教育研究災害傷害保険」、および「学生教育研究賠償責任保険」の双方に加入することを原則とする。 実習終了後、受講者からの報告書ならびに受け入れ企業からの報告および評価を受け成績を評価する。						
(5)授業計画	次の1～4の順で行われる 1. インターンシップガイダンス：（受講者からの申請準備連絡後に随時開催） インターンシップのしくみ・内容を理解する。希望学生と企業の約束のみならず、企業と大学との信頼関係に基づいた実習であることを理解し、心身ともに健康であり、学生であるという立場をはなれ実習に取り組む必要があることを理解する。 2. 希望調査ならびに実習の申請： 企業等のリストをもとに希望企業を調査し、調整作業を経た後、インターンシップ申込書や誓約書を作成する。おおむね夏季休暇まえまでにすべての手続きを終了する。企業の受け入れについての内諾を得た後、実習を行う。 3. 実習： 1～2週間の期間これを実施する。単位数に相当する実習時間が必要である。 4. 終了報告および評価 受講者本人より終了報告書を提出する。また実習先企業からの報告・評価をあわせ総合的に成績を評価する。						
(6)成績評価の方法	申請の準備・申請書作成時等の内容（10%）、実施報告書（40%）、および受け入れ企業の報告・評価書（50%）によって総合的に評価する。						
(7)成績評価の基準	「申請書の記述について必要な項目が網羅されている」、「実施報告書について、インターンシップの目的、計画、実施状況、およびその自己評価と改善点が適切に記述されている」、「受入企業の評価」などの達成目標の水準から見て以下の評価を行う。 ＜評価については次の評価基準を基本としている＞ 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない						
(8)事前事後学習の内容	・ インターンシップの実施について自ら調査し調査し、調整作業を行った後、インターンシップ申込書や誓約書を作成する事前検討作業を行うこと。 ・ 遅くとも実施あるいは実施の申請が確実になった段階までに担当者（各コース就職委員（2026年度）：未定（機能機械）、秋山教授（バイオエンジニアリング））に連絡を取り指示を仰ぐこと。 ・ 申請書等の作成に関しても十分な準備および相手方企業との調整を重ねること。 ・ 実習直前まで、相手方と調整した実習内容を確認・精査し必要な準備、関連の学習を重ねること。社会人の中で実習することをから、必要なマナーについて学習を深めること。 ・ 実習後の報告、ならびに企業からの報告作成の依頼など、必要なアクションを確実に実行できるように準備すること。 ・ 報告書や報告会について、評価を熟読し、指摘事項など改善点に対する回答を事後作成してまとめること。						
(9)履修上の注意	1. 実施時期は、原則として「学生夏季休業期間中」とする。 2. 実習期間は、原則として1～2週間 とする。（単位数に見合う実習時間であること） 3. 大学外部の組織との約束に基づいて実施される実習である。内諾受諾後の学生の都合による取消や変更は、＜学生＞本人の問題だけではなく、＜企業等＞側にも多大なご迷惑をかけることになる。よって、内諾受諾後は、学生の都合による取消はもちろん、変更も一切認められない。 4. 履修登録にあたっては、慎重に考慮したうえで履修登録をすること。 5. 社会人としてのマナーを心がけるのみならず、企業等に対して責任を持って行動するように常にこころがけること。 6. インターンシップ実習期間が万一、他の授業科目開設日時と重なっても公欠は認められない。						

(9)履修上の注意	7. 履修登録後において、担当教員とのコミュニケーションは実習に含まれる。また、事前に想定していない事項の対処については、実習前においては担当教員に、実習中においては企業側担当者と協議すること。
(10)質問,相談への対応	インターンシップによる単位取得については、メールで連絡すること。 各コース担当は、面談の日時・場所等を調整し、連絡します。 インターンシップ担当者（就職委員） 2026年度： 未定（機能機械）： 秋山教授（バイオエンジニアリング）：aki@shinshu-u.ac.jp 授業の担当者は両コース長となっているが、実務は就職担当教授が行う。
(11)学生へのメッセージ	履修上の注意を良く理解して下さい。
(12)その他	なし
【教科書】	なし
【参考書】	なし